

## 2023年度 日本インターンシップ学会東日本支部 第2回研究会報告

報告者 松坂暢浩（東日本支部支部長）

2024年3月21日（木）13:30より2023年度第2回研究会をオンライン（Zoom）で開催いたしました。当日は、全国から22名の大学教職員、民間企業など多様な皆様に参加いただきました。

第2回研究会は、2023年度の支部研究会のテーマである「インターンシップ研究における共創」を踏まえ、支部運営委員でもある二上武生先生（工学院大学）と高澤陽二郎先生（新潟大学）に取組事例を発表いただきました。今回は、インターンシップに取り組む上で、多様な立場や考え方を持つ学内外の関係者と協力し、新たな価値や教育効果を生み出すために、どのような実践および研究をされてきたかについて、ポイントを3つに絞りお話いただきました。

まず、高澤先生からは、低学年（学部1・2年生）を対象とした正科のインターンシップの実践を踏まえて、「目指したい教育効果に基づいた、事前学習～成果発表までの一貫性」と「受入企業との継続的なコミュニケーション」、それを実現するための「仕組み化」について具体的に紹介いただきました。次に、二上先生からは、これまで取り組まれた5つの事例について、「ステイクホルダーとの思い・ねらいの共有」「自分のできる範囲での関わり」「Win-Winの関係づくり」の3つの観点から解説いただきました。また、発表後の質疑応答では、活発な意見交換がなされ、盛会のうちに研究会を終えることができました。

研究会後の参加者アンケートには、9名の参加者から回答があり、研究会の満足度は「大変参考になった」「参考になった」あわせて100%でした。感想としては、「実践事例を研究につなげていく上で非常に参考になった」「高澤先生のお話では「能力観」という視点で改めて考えてみたいと思いました」「二上先生の「自分のできる範囲」で実行していくことはとても参考になりました」などのコメントがありました。

次回6月の第3回研究会（対面開催予定）も、引き続き「共創」をテーマとして、内容を検討したいと考えております。併せて支部研究会終了後に支部総会を開催する予定です。今後詳細が決まり次第、支部会員の皆様にご案内をさせていただきます。

